

担当教諭名 三浦仁志

授業名	SS サイエンス総合	週 4 単位
コンテンツ名 (単元名)	【地学×数学】三角測量と恒星までの距離	
目指す生徒像		① 現状を把握できる生徒
※適する項目に 「○」を付ける	○	② 目標を設定できる生徒
	○	③ 課題を解決できる生徒
授業の内容 または流れ (簡潔に)	<p>全2時間</p> <p>【1時間目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 恒星の明るさと恒星までの距離についての説明 <ul style="list-style-type: none"> ー 同じ強さの光を発しても、観測点までの距離によって見える明るさが異なる。 ー 離れた2点の距離とそこからの視差が決まれば、恒星までの距離を求めることができる。 ○ 三角測量の原理の説明 <ul style="list-style-type: none"> ー 測量には三角比の考え方が使われている。 ○ 問題演習 <ul style="list-style-type: none"> ー 三角比の表を用いて、三角測量の例題を協力して解く。 <p>【2時間目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 校舎裏の広いスペースで三角測量の実習 <ul style="list-style-type: none"> ー 班ごとに直径5mの円を地面に描き、地球の公転軌道に見立てて視差から目印のカラーコーンまでの距離を計算と作図により求める。 ○ まとめのワークシート作成 <ul style="list-style-type: none"> ー 班で1枚のワークシートを仕上げて授業担当者へ提出。 	